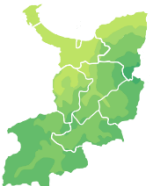


資料 1 - 3

令和 7 年 7 月 24 日
第 2 回 使用料等 審議会
鳥取県西部広域行政管理組合

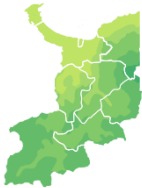
第 1 回 審議会での質疑及び回答

西部広域行政管理組合事務局
施設管理課・総務課



1 質疑及び回答

	質問等	回答・対応など
1	・両事業の決算の詳細な資料 ・原価償却についての考え方	○両施設の事業費の詳細な内訳については、資料2に記載しています。 ○公会計のため、企業会計にある貸借対照表や損益計算書などの財務諸表は作成していません。 また、原価償却についても会計処理上で考慮していません。
2	・今後の施設管理について	○両施設の今後の施設管理の予定は、次頁（別紙）参照
3	・建設費や改修費に係る補助金や交付税の状況	○補助金について ・当初建設費には補助金があった一方、大規模改修には補助金がありませんが、いずれも今回の使用料等の試算の算出には影響がありません。 ○交付税について ・建設費・大規模改修については、各市町村に起債に対する交付税措置があるものがあります。 ・両事業の経常経費についても、各市町村に交付税措置されていますが、使用料等の算定には考慮しないこととします。
4	・不燃物処理に係る最終処分場への搬入量及び経費 ・他団体の手数料算定における扱い	○不燃物ごみの搬入量4,000t/年のうち、約2,000 t /年が不燃物残さとして最終処分場に搬入されています。 ○処理に係る経費は約 2 億円（運搬費を除く）です。 ○中部広域、東部広域のいずれも算定費用に含んでいます。
5	・使用料等の減免制度の有無 ・災害ごみの対応	○火葬場使用料は、生活保護受給者が葬祭扶助で賄えない部分を減免する制度等がありますが、減免実績はありません。 ○不燃物処理手数料は、条例で「天災その他特別の理由があると認めるときは減免できる」と定めています。 ○災害ごみについては、減免とは別の仕組みで対応します。
6	事業所が搬入する不燃ごみについて	○リサイクルプラザで事業所の一般廃棄物として処理する不燃ごみは、従業員の個人消費によって生じる容器等（飲料缶、ペットボトル、金属容器など）です。 ※事業活動によって生じる不燃ごみは、産業廃棄物として事業所が処理業者に別途依頼します。



今後の施設管理について

(別紙)

本組合では、中長期的な視点で公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための方針である「公共施設等総合管理計画」を策定しており、当計画に基づき、各施設については「個別施設計画」を策定しています。

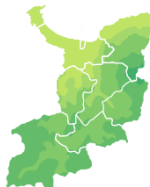
(1) 火葬場（桜の苑）

個別施設計画 令和2年11月策定（計画期間 令和2年度から令和10年度）

- 1 施設概要 平成3年11月に設置。令和7年度現在 約34年間使用。
- 2 目標使用年数 建築物の法定耐用年数（コンクリート造50年）以上とし、標準的な耐用年数とされる60年とする。
- 3 主な経過及び今後の見込み

時期	内容	備考	費用
平成3(1991)年11月	設置		
平成29・30年度	火葬炉及び関連施設改修工事	火葬炉の基幹設備修繕及び制御盤の更新 ※火葬炉は概ね10年ごとに実施 ※制御盤は設置以来の更新	約2億4,000万円
令和2年度	建物の大規模改修	施設の長寿命化、バリアフリー化等	約3億9,500万円
令和9・10年度(予定)	火葬炉改修工事	火葬炉の基幹設備修繕 概ね10年ごとに実施	約9,800万円(見込)
令和20～25年度ごろ	火葬炉改修工事	火葬炉の基幹設備修繕 概ね10年ごとに実施	—
令和33(2051)年度	施設更新	60年経過	

※上記に加え、維持補修として、毎年度、火葬炉の補修修繕工事が必要。（費用は平均 約540万円／年度(見込)）



今後の施設管理について

(別紙)

(2) 不燃物処理施設（リサイクルプラザ）

個別施設計画 令和3年3月策定（計画期間 令和2年度から令和10年度（令和13年度まで参考記載）
※リサイクルプラザは、平成13年度に策定した可燃ごみ処理広域化基本計画において、令和13年度まで稼働予定とし、令和14年度以降は、新しい一般廃棄物処理施設に移行予定。

- 1 施設概要 平成9年3月に設置。令和7年度現在 約28年間使用。
- 2 維持管理等の考え方
 - ・令和13年度までの施設稼働を目標とした主要設備の更新等を行う基幹改良工事、建築物の大規模改修は、平成30年度までに完了。
 - ・現在は、稼働予定期間を考慮した補修工事予定と、設備の劣化・損耗等の状況に応じた補修の必要性を見極めたうえでの補修により、令和13年度までの安定稼働を図っている。
- 3 主な経過及び今後の見込み

時期	内容	備考	費用
平成9年4月	設置		
平成25～30年度	建物の大規模改修 基幹設備の改良工事	施設の長寿命化等 基幹設備(プラント)の更新等	約8億7,400万円
令和元年度 ～令和13年度	設備の定期補修	設備の維持補修	各年度平均 約9,000万円(見込)
令和13年度	稼働終了	令和14年度から新しい一般廃棄物処理施設へ 移行予定	

